

27期生のご家族の皆様、他学部より2年長い医学生時代を無事終え、次のステップに進めるのもひとえにご家族の皆様のおかげです。ありがとうございました。

そして一編入生である私を温かく受け入れてくれた27期生のみなさん、ありがとうございました。おかげで楽しく4年間を過ごすことができました。感謝しています。本当は一人一人の名前を挙げたいのだけれど、スペースが足りないので割愛します。第107回国試、がんばりましょう！そしてまたいつか、沖縄で集まれるといいね！

最後になりましたが、同窓会員の皆様、そしてそのご家族の皆様がよい年末年始を過ごされることを願っています。

6年間を振り返って

野崎拓朗 (6年次)

医学科同窓会会員のみなさま、ならびに保護者のみなさま、季節感の薄い沖縄でもようやく秋らしく過ごしやすい季節になってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。6年次で年次長を務めています、野崎拓朗と申します。同窓会会報誌の27期近況報告は、黒崎さんをお願いしていましたが、学生最後の会報誌なので年次長もぜひ近況報告をとの依頼がありましたので黒崎さんとともに寄稿させていただきます。つたない文章ですが、しばしお付き合いください。近況については黒崎さんに任せて、私は6カ年間の学生生活について書いてみたいと思います。

さて、私たちが入学して5年半が過ぎ、先ごろ卒業試験も終わり、学校での公式行事は3月の卒業式を残すのみとなりました。振り返ってみると様々なことがありました。1年生の時は何と言っても、琉大祭に参加し、みんなで汗だくになりながらも片づけまでしっかりと仕上げたのは、学年が一つになるきっかけになったと思います。2年生になると、それまでとはうって変って、基礎医学の授業が始まり、勉強の仕方も友人同士でグループを作って一緒に勉強するようになりました。これは、現在の国家試験へ向けての勉強会の原型になったように思われます。3年生では、基礎医学から臨床医学の授業へと変わり学ぶべき事、覚えるべき事が増えていきました。またこの年は第61回西日本医科学学生総合体育大会(西医体)の沖縄開催によって部活をしている学生は準備、運営にと夏休みまで大忙しでしたが、今となってはいい思い出です。4年生ではそれまでの総仕上げと

して知識・学力を問うCBTや実技のOSCEが5年生への進級条件として課され、かなりの緊張感を持って試験に臨んだのを覚えています。5年生はそれまでの座学から、実際に診療現場にでてのポリクリ実習、戸惑うことが多く慣れるまでは緊張の連続でしたが、やはり座学だけでは学びえないこと、理解しにくい部分が良く学べたのは大変貴重な経験となりました。6年生は現在、最後の総仕上げとしての国家試験に向けて、勉強にいそんでいます。あと、2カ月ほどですが全力で頑張りたいと思います。

間もなく私たちは卒業し、それぞれの道を歩いていくことになります。入学時に決めていた科に進む人もいれば、授業や実習をへて進路が変わった人もいます。さらには臨床ではなく、研究や行政、はたまた医学とは違う方面に進む人もいるかもしれません。しかし、どの様な道に進もうとも同じ場所で学んだ同期の絆は変わりないと思います。ぜひ、同期会でそれぞれの体験を話し合えるようになるといいなと考えています。

さて、最後になりましたが、保護者の皆様に感謝の意を表したいと思います。私たちの学科は他の学科より2年長いだけではなく、高い専門書や不規則な生活など様々な面で保護者の皆様の支援なしにはここまで到達することはできなかったと思います。多くのご支援ありがとうございました。保護者の皆様のご期待にこたえられるようこれからもがんばっていききたいと思います。

成長のきっかけはどこにもある

伊泉卓馬 (5年次)

総仕上げであるCBTも無事通り、この4月から新しい病棟実習の体制で5年次がスタートしました。

いよいよ始まった病棟実習は、常々先輩方から

